

<資料> 「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト

2021年度「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト報告

柿内真紀・大谷直史

はじめに

教員養成センターでは、2021年度後期に、今年度で通算8年目となる「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト(2021年度 教育研究活性化経費)を企画実施した。プロジェクトは以下のように、<学び>、<遊び>、<つなぐ>の3つで展開している。

なお、今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス対策のため、対面をメインとしながら、設定定員を超える場合のオンライン併用、対面のみの場合の参加者数限定、オンラインのみの実施など、調整をしながらおこなった。

<学び> 現職教員の方々から、授業づくりやクラスづくりの極意を学ぶこと、教職に就いた後に続く、教員としてのさまざまなキャリア形成のあり方を学ぶことを目標として、授業づくり・学級づくりに力量のある現職教員等を講師に招いた「学びの教室」および、採用後3~4年の若手教員等を講師に招き、教職への不安や希望についてざっくばらんに語り合う「学びの座談会」(7年目)を実施した。これらのプログラムでは、教職関連授業と連携した内容やそれらの授業を補完する企画を組み、目指す教師像を参加学生が模索する機会とした。また、本学出身の現職教員を講師に含むことによりロールモデルの提供も目指したものである。講師の招へいについては、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会と連携している。

今年度の「学びの教室」は、大学の授業では実際の教育実践を学ぶ機会が少ない「学級経営」をテーマとして設定し、すべての学校種の現職教員を講師に招いて実施した。

「学びの教室」(全5回) 今年度のテーマ: 現職教員から学ぶ「学級経営」 参加者数のべ305人

第1回 10月25日(月) 5限

講師: 徳山英仁 教諭(鳥取県立倉吉農業高等学校)

第2回 10月27日(水) 5限

講師: 茅原久子 副校長(鳥取県立白兔養護学校)

第3回 11月 2日(火) 5限

講師: 谷口和輝 教諭(鳥取市立大正小学校)

第4回 11月11日(木) 5限

講師: 藤原めぐみ 教諭(私立認定こども園 鳥取第二幼稚園)

第5回 12月 3日(金) 5限

講師: 青野 学 教諭(鳥取市立南中学校)

「学びの座談会」(全1回) 先輩教師(若手教員)と語る会(対面のみ 人数限定) 参加者数12人

11月30日(火) 5限

宮本菜摘 教諭(鳥取市立江山学園) <義務教育学校>

渡辺大修 教諭(鳥取市立高草中学校) <英語>

(コーディネーター: 教員養成センター特任教員 片山敬子)

<遊び> 目的なく遊ぶことが結果的には学びにつながっていることや、遊びが学びを活性化させることも

あり、遊びと学びは対極にあるように見えて実は密接につながっている。今年度も一昨年度から引き続き、プログラミング教育をテーマに「遊びの教室」を実施した。第1回は高校で行われているプログラミング教育について、実際に授業で使われているプログラミングロボットを体験しながら行われた。それをふまえて第2回は、学生たちの作ったプログラミング教材用のボードゲームを発表する機会をもうけた。3つのゲームが提案され、実際に遊びながら意見交換を行った。



また、本を入りに教職志望者の視野を広げ、学習のデザインやアイデアの幅をひろげていくことを意図した「ブッククラブ」を、1年次の教職入門に該当する授業内に組み込んで実施した。内容は、「教育実習で児童・生徒に読んだ本をもとに語る」ことを前提に小グループで同じ本を読み、各自がテーマを決めて語り合う（オンライン）というものである。取り組みを実施するにあたっては、「読む本リスト」（75冊）を作成して提示し、このリストから受講者が選書することとした。毎年度更新しながら作成しているこのリストに掲載されている本は、教員養成センターのライブラリーで閲覧できるようにしている。

「遊びの教室」（全2回）（対面のみ）参加者数のべ48人

第1回 12月 6日（月）5限 「プログラミング教育」

講師：戸國義樹 教諭（鳥取県立鳥取工業高等学校）

第2回 12月 7日（月）5限

「教職実践演習」受講者によるプログラミング教材開発

（コーディネーター：教員養成センター教員 大谷直史）

「ブッククラブ」（「教職入門」関連授業内）対象授業受講者数 154人

（コーディネーター：教員養成センター教員 柿内真紀）

<つなぐ> 子どもたちが育っていく社会は多様化、グローバル化している。そこには、地域ごとの課題もあれば、ある社会全体、地球全体の課題もある。そして、学校は社会の変化を反映する。学校には不登校や非行、虐待や発達障害、異なる文化など、生活上のさまざまな課題が持ち込まれる。そうしたことを前提にしながら、これからの社会ではたらく教員として、どのようなつながりを持つのか／つながるのかを考える機会として、毎年度<つなぐ>を企画している。

今年度の「つなぐ教室」は、①「教職への道のりを知る・考える」と題して、教員を目指す学生を対象にした準備講座、および、鳥取県ではどのような教員が求められているのかをテーマに鳥取県教育委員会主査を招いた講座、②「学校に行きにくい子を支える」をテーマに、不登校生徒支援などをおこなっている兵庫県立但馬やまびこの郷から講師を迎えた講座、③「ローカルとグローバルをつなぐ教員のしごと」として、海外日本人学校等（在外教育施設）経験教員等を講師に招き、グローバル人材としての教員（または、グローバル人材を育てる教員）の観点から教員のキャリア形成を促すことを念頭においた講座を開催した。③は今回で8年目

となり、主に今年度帰国した、該当する鳥取県内の現職教員等を招くことを継続している。

「つなぐパネル」では、今年度のテーマとして「学びをつなぐ図書館」を掲げ、都道府県立図書館では全国初の学校図書館支援センターを開設（2015年4月）している鳥取県立図書館の協力を得て、学校図書館支援員経験者等をパネリストに招き、パネリスト講演の後、コーディネーターとともに鼎談をおこなう形式で実施した。

また、縦のつながりをかたちづくる、教員採用試験を経験した4年生が後輩に語る「つなぐ座談会」（3年目）を実施した。

「つなぐ教室」（全5回）参加者数のべ351人

第1回 10月21日（木）2限 「教職への道のりを知る・考える（その1）」

講師：片山敬子（教員養成センター特任教員）・石本雄真（教員養成センター教員）

第2回 11月25日（木）5限（オンラインのみ）「学校に行きにくい子を支える」

講師：浦野裕之 指導主事（兵庫県立但馬やまびこの郷）

（コーディネーター：教員養成センター教員 石本雄真）

第3回 12月 1日（水）5限 「教職への道のりを知る・考える（その2）」

講師：長尾芳春 主査（鳥取県教育委員会教育人材開発課）

第4回 12月 9日（木）5限 「ローカルとグローバルをつなぐ教員のしごと（その1）」

講師：高木雅子 元校長（元鳥取市立神戸小学校長）＜前ブエノスアイレス日本人学校＞

第5回 12月10日（金）5限 「ローカルとグローバルをつなぐ教員のしごと（その2）」

講師：川口純平 教諭（倉吉市立成徳小学校）＜前ミラノ日本人学校＞

（第3～5回 コーディネーター：教員養成センター特任教員 片山敬子）

「つなぐパネル」（全1回）参加者数のべ30人

（コーディネーター：教員養成センター教員 大谷直史・柿内真紀）

11月24日（水）5限 テーマ「学びをつなぐ図書館」

＜パネリスト＞ 津村玲子 学校司書（鳥取市立宮ノ下小学校）

生田優子 教諭／司書教諭（鳥取県立青谷高等学校）

「つなぐ座談会」（全1回）4年生が後輩学生に語る会（対面のみ）参加者数10人

12月15日（水）5限 （コーディネーター：教員養成センター特任教員 片山敬子）

柿内真紀（鳥取大学教員養成センター長）※「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト代表

大谷直史（鳥取大学教員養成センター）